

2016年夏 電子ホワイトボード導入

YNの教室自慢

約35年…

なかなか歴史のあるビル、  
そして当教室ですが、  
内部はかなりの

**最先端**です。

2018年春

**充実工事完了!!!**

…すでに卒業した生徒の皆さん、申し訳ない…。

当教室は小さな個人塾ですが、こちらも日々勉強。

「**良いものはどんどん導入を!**」とがんばっております。



約100インチの超大型画面に生まれ変わりました!

(これまでは約60インチでした)

もちろんこの画面内で拡大も簡単にできますので、  
メガネをかけたくないお年頃の中학생でも大丈夫!?

…もちろん、メガネをかけてほしいですが……。

赤マルの部分おわかりでしょうか?

サイズ違いが一番わかりやすいこの教室のもの。

元々も大教室用である大きなホワイトボードを、  
「2枚」大工さんに連結加工していただきました。

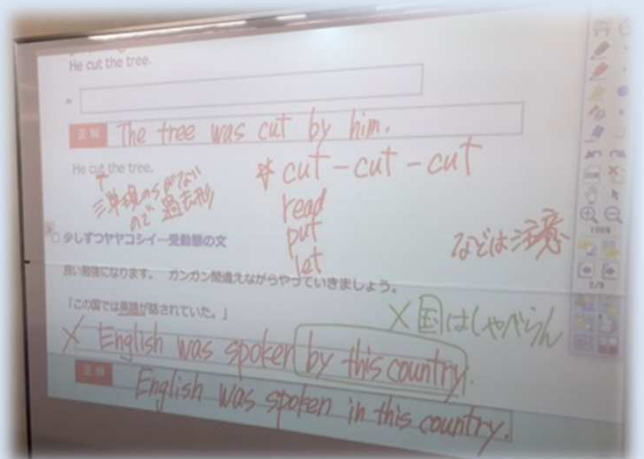
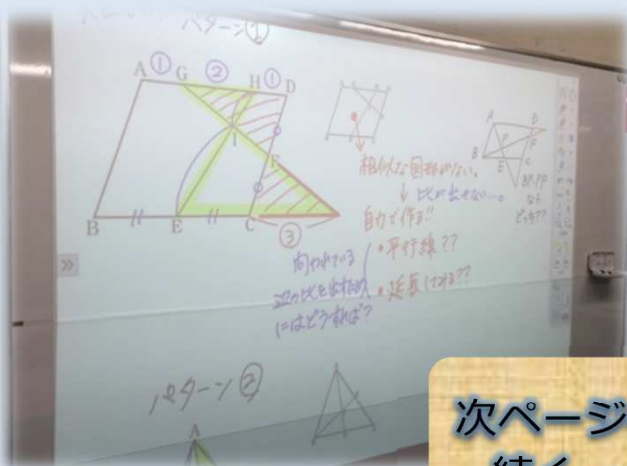
当教室で導入しているのは【電子ホワイトボード】

単にテキストや画像などを投影するだけでなく、

電子ペンで直接書き込み、授業を進めていきます。

乱雑な文字と言葉の板書ですが、

拡大してご覧いただくと幸いです。



板書は【データ】としてパソコン上に保存。

前回の授業内容を表示しての復習が容易です。

もちろん、印刷やデータ送信が可能。

新規単元の学習中でのご欠席や、理解不足の生徒への  
指導時、特に威力を発揮すると考えています。

次ページへ  
続く…



2 対話を聞いて、内容に合うものを2つ選び、記号で答えなさい。 TRACK 17 (2点×2)

ア Mika is telling Tom when she will leave Kyoto.  
 イ Tom is asking Mika who lives in Kyoto.  
 ウ Mika doesn't know how she can find Tom's house.  
 エ Tom hasn't decided what he will do during his winter vacation.  
 オ Mika is asking Tom whose birthday is on January 5.  
 カ Mika is telling Tom what sport she likes.

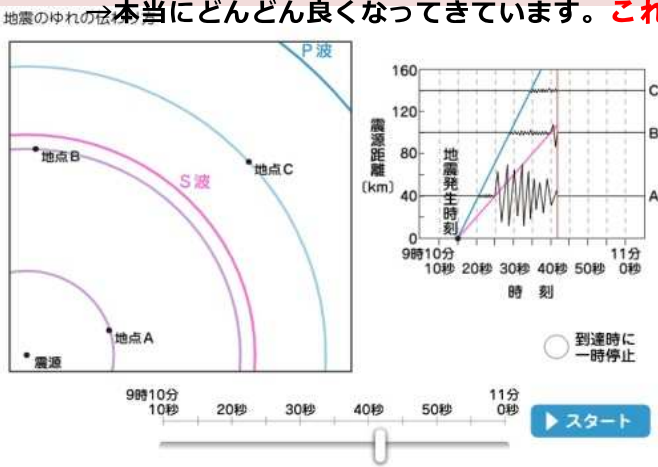
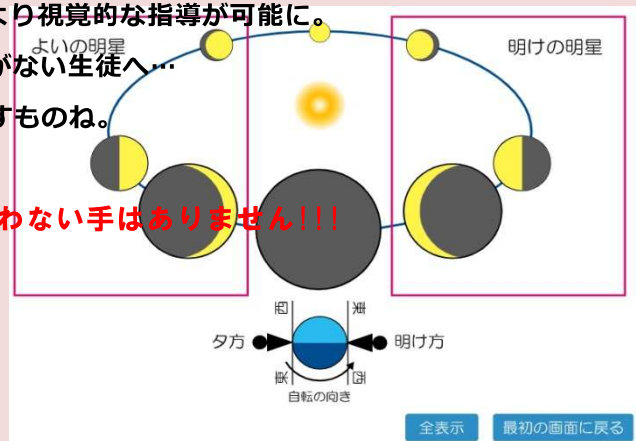
リスニングの練習も実施

1:36 / 2:21

ウ (順不同、各2点)

もちろん、純粋なプロジェクターとしての機能も活用しています。

- 生徒自身の解答や、塾外の問題集の質問を...  
→ 講師のスマホを經由してスクリーンに投影。より視覚的な指導が可能に。
- 「縁側」「観葉植物」「熱帯雨林」... 実物を見たことがない生徒へ...  
→ ネット検索画像を表示。見た方が理解も早いですね。
- 以下のようなデジタル教材...  
→ 本当にどんどん良くなってきています。これを使わない手はありません!!!



中和における液中のイオン数の増減

塩酸の体積 50cm<sup>3</sup>

塩酸に水酸化ナトリウム水溶液を加える

水酸化ナトリウム水溶液に塩酸を加える

イオン数の数

水素イオン (H<sup>+</sup>)  
 塩化物イオン (Cl<sup>-</sup>)  
 ナトリウムイオン (Na<sup>+</sup>)  
 水酸化物イオン (OH<sup>-</sup>)

塩酸 50 cm<sup>3</sup> + 水酸化ナトリウム水溶液 48 cm<sup>3</sup>

混ぜた結果をかきす

アルカリ性

H<sub>2</sub>O H<sub>2</sub>O H<sub>2</sub>O  
 H<sup>+</sup> Cl<sup>-</sup> H<sup>+</sup> Cl<sup>-</sup> H<sup>+</sup> Cl<sup>-</sup>  
 Na<sup>+</sup> OH<sup>-</sup> Na<sup>+</sup> OH<sup>-</sup> Na<sup>+</sup> OH<sup>-</sup>  
 Na<sup>+</sup> Cl<sup>-</sup> Na<sup>+</sup> Cl<sup>-</sup> Na<sup>+</sup> OH<sup>-</sup>

2 ヨーロッパの農業地域

混合農業  
 酪農、放牧  
 地中海式農業  
 小麦  
 ぶどう

円に内接する四角形の特徴を確認しよう

次ページは  
 中学部のお話し

# 目標は公立高校進学！

…だから内申点(学校の評価)が大切!!

↑これ、少し違います……。

現行の大阪府公立高校入試は、以下のようになっています。

※令和2年度入試で予定されている「普通科」のみ表記。入試得点は「1問3点」として算出しています。

タイプⅠ (学力超重視)	タイプⅡ (学力重視)	タイプⅢ(バランス)	タイプⅣ(内申重視)
主な近隣高校 <b>阿倍野以上(清水谷除く)すべての普通科</b>	主な近隣高校 <b>清水谷・山本・花園・藤井寺 八尾翠翔・みどり清朋・平野</b>	主な近隣高校 日新・大塚・かわち野	主な近隣高校 懐風館・美原
合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 <b>630点</b> □ 中3評定 162点 □ 2年評定 <b>54点</b> □ 1年評定 <b>54点</b> 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 <b>4.2点</b> □ 中3評定 <b>3.6点</b> □ 1.2年評定 <b>1.2点</b>	合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 <b>540点</b> □ 中3評定 216点 □ 2年評定 <b>72点</b> □ 1年評定 <b>72点</b> 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 3.6点 □ 中3評定 <b>4.8点</b> □ 1.2年評定 1.6点	合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 450点 □ 中3評定 270点 □ 2年評定 90点 □ 1年評定 90点 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 3.0点 □ 中3評定 6.0点 □ 1.2年評定 2.0点	合計得点(900点)の内訳 ○ 入試得点 360点 □ 中3評定 324点 □ 2年評定 108点 □ 1年評定 108点 「1つ向上！」の値打ち ○ 入試得点 2.4点 □ 中3評定 7.2点 □ 1.2年評定 2.4点

「内申点は大切だ！」という観点から、学校の定期テストの成果ばかりに目がいきがちですが、この地域で言えば、中堅少し上の阿倍野高校以上は、清水谷高校を除いてすべて「タイプⅠ」を選択しています。この「タイプⅠ」では、中1・中2時の評定ひとつの向上は「たった1.2点」にしかならず、これに対し入試当日の問題は、ひとつ3点の問題であれば、これが1問「4.2点」になります。英語・数学・国語では普通に出題されるひとつ6点の問題なら、なんと1問が「8.4点」に。

同程度の学力群が各高校を選択し、受験する訳ですから、もちろん内申点は大切です。ここをおろそかにしすぎると、「あ〜、無理やな…」と目指せるはずの目標がすすんでしまいます。ですが、数字だけで判断するなら、公立高校入試、特に「タイプⅠ」の高校を受験する際に大切になってくるのは、

- ①入試当日にどれだけ得点できるのか。
- ②「中3時の内申(確定は3学期評定)」をどれだけ伸ばせるか。…評定ひとつの向上が「3.6点」に。
- ③最後に1.2年生時の内申。…実は「1つ、たったの1.2点」

の優先順位を間違わないこと、となります。

ちなみに、山本・花園・藤井寺高校などの中堅もしくは中堅少し下の高校、及び清水谷高校が選択している、「タイプⅡ」でも、やはり、

- ①「中3時の内申(確定は3学期評定)」…評定ひとつの向上が「4.8点」
- ②入試得点。…1問3点なら「ひとつ3.6点」
- ③1.2年生時の内申。…「1.6点」

と、やはり1.2年生時の内申の優先順位が一番低く、3年生時の成績がとて大切なことは変わりません。

ですから大切なのは、1.2年の時にどれだけ定期考査で高得点を獲得するか、ではなく、この時期にどれだけ「地頭(じあたま)」を鍛え、問題解決に向かうための素地をこしらえることができるかということ。

そしてもちろん、短期的な成績向上ではない、「最後にならないとわからない学力の向上」を積み上げること。

YNでは、1.2年生時であっても生徒の嫌がる難問へ、時には取り組んでもらいますし、指導内容は少々難しく目です。

また、業者作成の模擬試験も多く実施し(中1.2年生は年6回/中3生は年9回)、学習塾本来の責務である学力向上をしっかりと測定していきます。

「アカン…」と子供たち自身が素直に思える失敗や少々の挫折も、我々は「よし」と考えます。

学習塾側が、得点の向上だけを求め、管理指導をしすぎることは当方は反対です。

「待つ」ことは、とても大変です。ですが、それが放棄でさえなければ、塾生たちは自ずから伸びていく…と考えています。

目標を持つこと・あきらめないこと・努力がやはり大切だということ・仲間はいいものだし、そしてなにより楽しむことが大切であること。

そういった「キレイゴト？」も、まっすぐ伝えられる学習塾でありたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。